



2019年8月28日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 石原紀彦
(コード番号：2467 名証セントレックス)
問合せ先：上席執行役員CFO 高橋 恭一郎
電話番号：03-5649-2500(代表)

(開示事項の経過・変更)
**当社連結子会社による米国LAコマーシャルアリーナにかかる
販売契約及び運用サポート等契約の現況に関するお知らせ**

1. 本件の概要

当社連結子会社Strategic Cyber Holdings LLC (以下「SCH」といいます。)は、2019年1月28日付「(開示事項の経過)当社連結子会社による米国LAコマーシャルアリーナにかかる販売契約及び運用サポート等契約の締結に関するお知らせ」(以下「前回開示」といいます。)にて公表いたしましたとおり、事業パートナーのCyberGym Control Ltd. (本社：イスラエル ハデラ市、代表者：Ofir Hason,CEO)と共同で、米国ロサンゼルス市において重要インフラ向けにサービス提供する現地企業(以下「本件契約先」といいます。)と、サイバーセキュリティトレーニング施設『LAコマーシャルアリーナ』にかかる販売、ライセンスの供与及び運用サポート等に関する契約を締結いたしました。

しかしながら、想定していた2019年7月末までに、契約上の定めによる販売代金の30%に相当する前払金の入金がなく、本件契約先に対して支払の催促を行っておりますが、未だに入金がなされておらず、今後の支払プロセスについての合意も出来ておりません。また、2019年8月10日付けロサンゼルスタイムズ等において、本件契約先の関係者にかかる報道があり、現在、事実関係の把握を含めた情報収集等に努めております。

このような状況を受け、前回開示において2019年7月~8月としていたLAコマーシャルアリーナの設置予定時期を見直すことといたしました。

2. 業績に与える影響

当期の連結業績において、LAコマーシャルアリーナの販売による売上高467百万円を見込んでおりました。そのため、SCHが2019年12月までに同アリーナを納入・設置できない場合には、当期の連結業績に重要な影響を与える可能性があります。SCHは、米国ロサンゼルス地域のサイバーセキュリティ市場としての重要性及び需要に鑑み、同アリーナの代替先への納入・設置も選択肢に入れた上で、引き続き早期開設を目指してまいります。同アリーナによる売上については、保守的に当期計画から除外することといたします。本件を踏まえた当期の連結業績予想につきましては、現在精査中であり、確定次第、速やかに開示いたします。

以 上